

有明海・八代海の再生に係るこれまでの検討の成果、
今後の課題等の整理について（案）

1. 評価委員会における今までの検討内容（進行中のものを含む）

○現地でのヒアリング

漁業関係者、NGO関係者等から有明海・八代海的环境または水産資源の変化の状況等についてヒアリングを行った。

○国・関係県の調査研究結果の報告

国及び関係県が有明海・八代海について行った調査研究結果の報告を受ける。
（引き続き実施）

○学識経験者からの研究成果の報告

有明海・八代海に関する研究の成果について、学識経験者から報告を受けた。

○小委員会におけるとりまとめ

有明海・八代海に係る大学等による調査研究に関する情報を小委員会において収集・整理している。

①干潟、②潮流・潮汐、③赤潮・貧酸素水塊、④水産資源の項目について第8回評価委員会で報告を受ける。

今後は、①汚濁負荷量、②河川流況、③土砂採取、④その他について同様に整理。

2. これまでの検討の成果、今後の課題等の整理の必要性

○有明海・八代海の再生に係る評価を行うため、現状の問題点及びその原因又は要因としてあげられている事項等を整理する。

○今後必要な調査研究を整理し、国・関係県による今後の調査研究計画に反映させる。

3. 評価委員会の当面のスケジュール（案）

<別紙参照>

有明海・八代海の再生に係るこれまでの検討の成果、
今後の課題等の整理についてのイメージ（案）

○有明海・八代海の再生に係る評価を行うため、現状の問題点及びその原因又は要因としてあげられている事項等を整理する。

○今後必要な調査研究を整理し、国及び関係県による今後の調査研究計画に反映させる。

現状の問題点(例)	水質の悪化	底質の悪化	水産資源の減少	貧酸素水塊の発生	
問題の状況					
その原因又は要因とされる事項					
再生に向けた検討課題					
今後必要な調査・研究					

評価委員会の当面のスケジュール（案）

平成16年3月22日

